

3.11 祈りの日

2019年 3月11日(月)

◎オープニング 18:30～(開場18:00) ◎鎮魂と供養の芸能と詩の奉納 19:00～
安洞院 本堂 (福島市山口)

観覧無料(ドネーション・投銭制)・要事前申込[定員150名] ホームページまたはお電話にてご予約ください。

オープニング・鎮魂の尺八献奏

出演: 中村明一

第一部・祈りの手紙朗読と海外からの祈り

出演: 紺野美沙子 横山俊顕

それぞれの3.11への思いを重ねながら語り合うトークと海外からのメッセージ紹介。
今回公募した「震災・未来・いのち・ふるさと」をテーマとした「祈りの手紙」を
紺野美沙子さんが朗読する時間です。

海外からは、日本人が中心となり震災後に組織された
スペイン・バルセロナの団体「KOREKARA JAPON」より、
福島へ寄せたメッセージや
3.11当日の現地の映像が届けられます。



KOREKARA
JAPON



紺野美沙子(俳優)



中村明一(尺八奏者)

第二部・詩と朗読 19:00～

出演: 中村明一 紺野美沙子 和合亮一

祈りの手紙の朗読に続き、詩の朗読と尺八の共演となります。
供養と鎮魂を願う演目が本堂仏前に奉納されます。



横山俊顕(安洞院住職)



和合亮一(詩人)

主催: 未来の祀りふくしま実行委員会
共催: 3.11 祈りの日実行委員会(安洞院内)
後援: 福島県 福島市 福島市教育委員会
協力: KOREKARA JAPON
事務局: 〒960-8068 福島県福島市太田町 27-21NPO 法人うつくしまランチ内

お問い合わせ・お申込みは
HP: <https://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/cafe/>

TEL024-536-3103



あの日を忘れないための、
震災慰霊のために作られた広場
祈りの広場

どなたでもご自由にご参列、ご焼香いただける慰霊法要です。
どうぞみなさまでお参りください。

虚無僧尺八行列 2019年3月11日(月) 午後2時 山門より出発
東日本大震災 慰霊法要 午後2時46分
◆安洞院しのご霊園内 祈りの広場 ◆参列無料

午後2時から山門より行列出発～本堂～慰霊塔前へ
神保流尺八の祖、神保正之助が眠る安洞院。全国でも珍しい虚無僧尺八行列は見所です。
午後2時46分より慰霊塔前にて黙祷を捧げ、死者の冥福と
郷土の復興を祈る慰霊法要を行い献花を捧げます。
ご参列皆様よりご焼香を賜ります。
主催 3.11祈りの日実行委員会(安洞院内)
<https://antouin.com/>



【虚無僧尺八】

3.11祈りの日

出演者プロフィール



紺野美沙子 (俳優)

東京生まれ。1980年、慶応義塾大学在学中にNHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。硬軟を問わず意欲的に舞台に取り組んでいる。1998年、国連開発計画親善大使の任命を受け、カンボジア・パレスチナ他、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。2010年秋から、「紺野美沙子の朗読座」を主宰。様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスを全国各地で公演している。また、震災翌年より東北応援として被災各県にて朗読座の公演を行っている。祖父は福島県出身。「3.11祈りの日」には昨年の朗読に続き2回目の出演となる。



中村明一 (尺八奏者)

横山勝也師、多数の虚無僧尺八家に師事。米国バークリー音楽大学およびニューイングランド音楽院大学院にて作曲とジャズ理論を学ぶ。虚無僧に伝わる古典音楽をライフワークとしながらも、ロックから現代音楽に至るまで幅広く活動。世界40カ国余150都市以上で公演。自ら捜しあて極めた日本古来の呼吸法「密息」と、独自に開発した方法による循環呼吸を自在に操る。作曲活動も活発に行い、NHK、ドイツ国営放送など各方面より委嘱作品多数。CD「虚無僧尺八の世界」シリーズにて文化庁芸術祭レコード部門優秀賞。ほか作品にて第19回松尾芸能賞、第18回文化庁舞台芸術創作奨励賞など受賞多数。CD13枚、著書に『倍音』(春秋社)、『「密息」で身体が変わる』(新潮社)他。東京学芸大学、洗足学園音楽大学大学院他で講師も務める。<http://www.kokoo.com>



横山俊顕 (安洞院住職)

1979年福島市生まれ。曹洞宗安洞院17世住職。定期的に開催される文化芸能、心身を調えるための食や坐禅・ヨガイベントの収益は、東日本大震災で親を失った遺児・孤児のための福島県の基金「東日本大震災ふくしま子ども寄付金」へ寄付している。平成27年10月に住職就任後より、3月11日に毎年行われてきた慰霊法要に合わせ、鎮魂と供養の芸能の奉納を企画。平成28年には創作能『中尊』(観世流能楽師・中所宜夫作)、平成29年には戯曲『良寛』(哲学者・和久内明作)が平成30年には琵琶と朗読の共演(紺野美沙子による語り)と琵琶奏者・塩高和之による演奏)が奉納された。震災7回忌には境内祈りの広場に詩人、和合亮一氏による鎮魂の詩碑を建立した。



和合亮一 (詩人)

1968年福島市生まれ。詩人。中原中也賞、晩翠賞など受賞。新聞各紙にてエッセイ、時評などを連載。最新刊は現代詩文庫「和合亮一詩集」「続和合亮一詩集」。詩集「QQQ」など。震災直後にTwitterにて福島の現状を詩の言葉で伝えた。それをまとめた詩集「詩の礫」が昨夏にフランスにて翻訳・出版され、第一回ニュク・レビュー・ポエトリー賞を受賞。フランスでの詩集賞の受賞は日本文壇史上初となり、国内外で大きな話題を集めた。近年はインドネシアや台湾、アメリカにて講演をした。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。これまで何度も作品の朗読をしてきた安洞院は和合家の菩提寺であり、墓所には先祖代々が眠っている。

祈りの手紙朗読

テーマ:「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」

募手紙を
集し
て
いま
す

「震災」「未来」「いのち」「ふるさと」をテーマとした手紙を募集します。
安洞院本堂にて俳優の紺野美沙子さんが朗読いたします。
手紙の相手は、生きている人でも、亡くなった人でも、あるいは故郷でも、大切な動物でも。
皆様の想いに一人一人が耳を傾け、思いを分かち合い、
三月十一日の夜を共に過ごしてまいります。

2月28日
締切

【応募要項】

- 募集期間 平成31年2月28日(木) 当日消印有効
- テーマ ①震災②未来③いのち④ふるさと のいずれかをテーマとしたもの
- 体裁 400文字以内(郵送、FAX、メール 添付、HPフォームのいずれか)
- 撰者 和合亮一(詩人)
- 表彰 特に心に残る手紙は3.11当日に本堂仏前にて朗読させていただきます。
- 受賞 該当作品数点 賞状ならびに記念品贈呈

【記入事項】

- ①氏名 ②年齢 ③性別 ④メールアドレス(メールの方のみ) ⑤郵便番号
- ⑥住所(マンション名まで含む) ⑦手紙の相手は誰ですか? ⑧手紙のタイトル(なくても可) ⑨手紙文面(400文字以内) ⑩匿名希望の方はペンネーム

【送付先】

- ◆郵送 〒960-8202 福島市山口字寺前5 安洞院「祈りの手紙」係
- ◆メール tegami@311inori.net ※ワードファイル等で添付してください
- ◆FAX 024-533-6785

【諸注意】

- 応募作品は当ウェブサイトのコンテンツとして掲載します。また、今後の展示や冊子等の各種媒体に掲載される場合があります。応募の時点で内容の公表に同意したものとみなします。
- 未発表のものに限ります。過去に類似のものに応募された作品や、SNS等に公開されたものは応募できません。
- 応募された作品の著作権を含む著作権のすべては当実行委員会(宗教法人安洞院)に帰属し、応募された作品は返却できません。
- 郵送の書式は問いません。葉書、手紙、原稿用紙、いずれでも結構です。
- メールの場合は本文・添付文書いずれかをお願いします(ワード、太郎等。その他ソフトはご相談ください)



特に心に残る手紙は
俳優の紺野美沙子さんが
本堂にて朗読させていただきます

